



平成 30 年 4 月 13 日

各 位

会 社 名 児玉化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 豊島 哲郎
(コード：4222、東証第2部)
問合せ先 経理財務部長 大洞 豪将
(TEL. 03-3279-4900)

特別損益の計上ならびに通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、関連会社株式の譲渡に伴う特別損益を計上するとともに、最近の業績動向等を踏まえ、平成 29 年 5 月 12 日に公表しました平成 30 年 3 月期の業績予想を下記の通り修正致しましたのでお知らせいたします。

1. 特別損益の計上について

当社は、インドネシアの持分法適用関連会社である PT Echo Advanced Technology Indonesia (以下 E A T I という) の全株式を 3 月 30 日付けで、Daiwa Kasei Thailand Co.,Ltd に全株を譲渡致しました。

当社は E A T I が 2012 年の設立以来赤字を継続し、当社連結業績に大きな損失を計上してきたことから、平成 28 年 11 月 2 日公表の通り、E A T I の主要取引先であり、E A T I の株主である小島プレス工業株式会社 (以下、「小島プレス」という) へ E A T I の株式を一部譲渡し、小島プレスを筆頭株主とする経営体制とし、当社も E A T I を連結子会社から持分法適用関連会社としてその役割を分担し小島プレスと協力し E A T I の経営改善を進めてまいりました。しかしながら、今後のインドネシアにおける自動車需要の増加と受注は期待できるものの、経営改善の効果によってもこれまでの人件費の上昇等をカバーした上での急激な収益改善の目途が立たない事から、今般、小島プレスと協議の結果、E A T I を小島プレスのもとで事業構造から見直すことで合意に至り、E A T I 株式を小島プレス関連会社である Daiwa Kasei (Thailand) Co.,Ltd に全株譲渡することと致しました。

これに伴い当社の自動車部品事業はインドネシアから撤退する事になりますが、今後は、自動車需要が戻りつつあるタイと、高付加価値製品が採用になり販売が拡大しつつある日本に経営資源を集中してまいります。

尚、連結業績、個別業績に与える影響は下記の通りであります。

- (1) 連結業績においては、E A T I の今期の赤字を持分法による投資損失として経常利益に反映すると同時に、E A T I の株式を譲渡することによる株式売却損失と、株式譲渡によりこれまで連結決算において計上してきた同社の赤字の戻し処理で計上する特別利益を相殺した結果、特別利益を約 2 億円計上する見込みであります。
- (2) 個別業績においては、E A T I の株式を譲渡することによる株式売却損失を特別損失として、1 億 6 千 7 百万円計上する見込みであります。

また、2017 年 11 月発表の中期経営計画においては、既に E A T I からの撤退を視野に入れておりましたので収益計画には組み込んでおらず、中期経営計画の変更はございません。

2. 業績予想の修正について

(1) 平成30年3月期通期連結業績予想の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 18,700	百万円 250	百万円 80	百万円 30	円 銭 0.93
今回修正予想(B)	19,900	120	△250	△190	△5.38
増減額(B-A)	1,200	△130	△330	△220	—
増減率(%)	6.4	△52.0	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	21,331	△96	△315	349	11.79

(2) 平成30年3月期通期個別業績予想の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 11,300	百万円 30	百万円 10	円 銭 0.34
今回修正予想(B)	11,700	△190	△430	△12.18
増減額(B-A)	400	△220	△440	—
増減率(%)	3.5	—	—	—
(ご参考)前期実績	11,191	49	487	16.46

(3) 修正の理由

(連結業績予想)

連結業績予想につきましては、株式譲渡に伴いEATIが持分法適用関連会社の適用除外となりましたが、その株式譲渡が第4四半期であったため、EATIの赤字を持分法投資損失として経常損益に反映します。また、EATI株式譲渡に伴う損益につきましては、売却損失を計上する一方でEATIの過年度損益等の調整により特別利益約2億円を計上する予定であります。

尚、その他の海外子会社における土地売却益や事業撤退損失等の特別損益への計上、非支配株主持分の調整等により、当期純損失は約1億9千万円となる見込みです。

(個別業績予想)

個別業績予想につきましては、住宅設備関連では新規住宅着工並びにリフォーム市場の不振等による売上高減少により収益が悪化しました。また、自動車部品事業では新工法による新製品等の売上高は大きく増加致しましたが、年度前半における生産準備費用等や、既存製品の想定を上回る生産量に対応するための追加費用等の増加により利益は減少し、住宅設備関連の収益悪化をカバーすることができず、全体の収益も悪化致しました。

また、EATIの株式を譲渡することによる株式売却損失等を特別損失として計上する見込みであります。

以 上